

<飲酒運転の撲滅に対する県民の意識について>

【調査の目的】

福岡県では、平成24年9月全面施行された全国初の罰則付きの「飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例」(※1)(以下「飲酒運転撲滅条例」といいます。)に基づき、飲酒運転撲滅に係る様々な取組みを実施しています。これらの周知状況等について県民の皆様のご意見をお聴かせいただき、今後、取組みを推進する上での参考とさせていただきたいと思ひます。

【活用状況】

- ・飲酒運転撲滅条例の内容をはじめ、県で行っている飲酒運転撲滅対策に係る事業を広く県民に周知するための参考資料として活用
- ・来年度以降の飲酒運転撲滅キャンペーンの効果的な実施に向けた検討資料として活用
- ・効果的な広報啓発を行うための参考資料として活用

※1 飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例とは

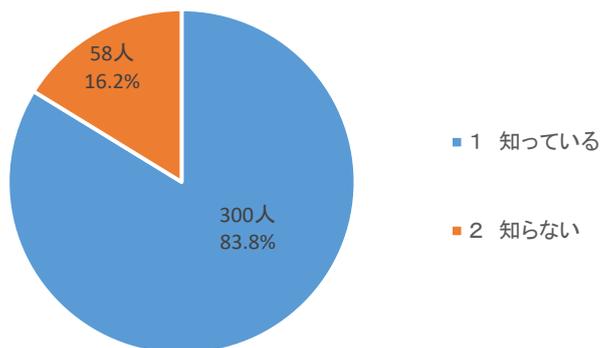
本県において深刻な状況にある飲酒運転の撲滅を推進し、飲酒運転のない、県民が安心して暮らせる社会を実現するため、平成24年2月の県議会で議員提案により制定された全国初の罰則付きの条例です。

問1 福岡県の飲酒運転事故件数が全国の中でもワーストレベルであること(平成29年は全国ワースト11位)をご存じですか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

(N=358 選択は1つのみ)

1 知っている	83.8%	(300人)
2 知らない	16.2%	(58人)

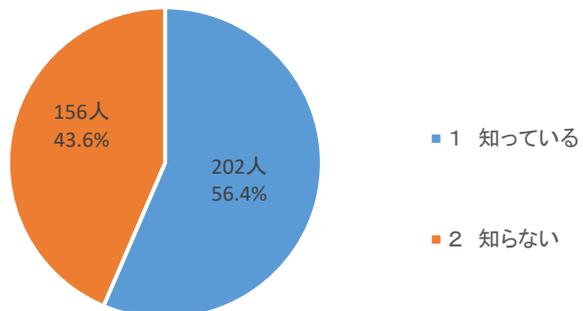


問2 福岡県では、平成24年に全国初の罰則付きの「飲酒運転撲滅条例」が施行されましたが、このことをご存知ですか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

(N=358 選択は1つのみ)

1 知っている	56.4%	(202人)
2 知らない	43.6%	(156人)

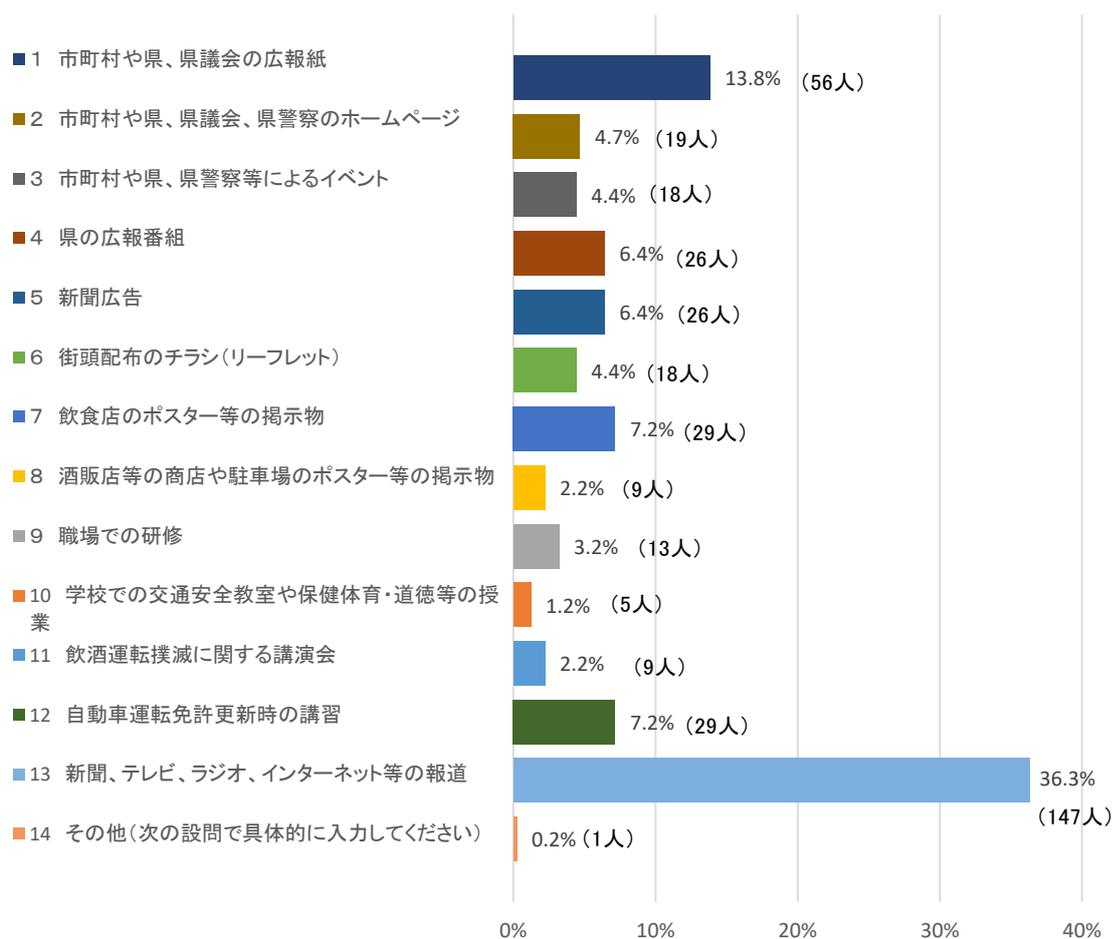


問3（問2で「1」を選択された方にお尋ねします。）

福岡県で平成24年に全国初の罰則付きの「飲酒運転撲滅条例」が施行されたことを知ったきっかけを、次の中から【全て】選んでください。

（回答者数202人、回答件数405件、複数選択可）

1 市町村や県、県議会の広報紙	13.8%	(56人)
2 市町村や県、県議会、県警察のホームページ	4.7%	(19人)
3 市町村や県、県警察等によるイベント	4.4%	(18人)
4 県の広報番組	6.4%	(26人)
5 新聞広告	6.4%	(26人)
6 街頭配布のチラシ(リーフレット)	4.4%	(18人)
7 飲食店のポスター等の掲示物	7.2%	(29人)
8 酒飯店等の商店や駐車場のポスター等の掲示物	2.2%	(9人)
9 職場での研修	3.2%	(13人)
10 学校での交通安全教室や保健体育・道徳等の授業	1.2%	(5人)
11 飲酒運転撲滅に関する講演会	2.2%	(9人)
12 自動車運転免許更新時の講習	7.2%	(29人)
13 新聞、テレビ、ラジオ、インターネット等の報道	36.3%	(147人)
14 その他(次の設問で具体的に入力してください)	0.2%	(1人)



問3-2 問3で「14」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

(N=3)

- ・福岡県からのお知らせです・・・というインフォメーションのあとに、当該に関するメッセージが流れるものです。
- ・大丸で開催された消防署？警察？の音楽隊の演奏会の途中で宣伝があった。
- ・西鉄バスの中での車内放送で良く聞きます。

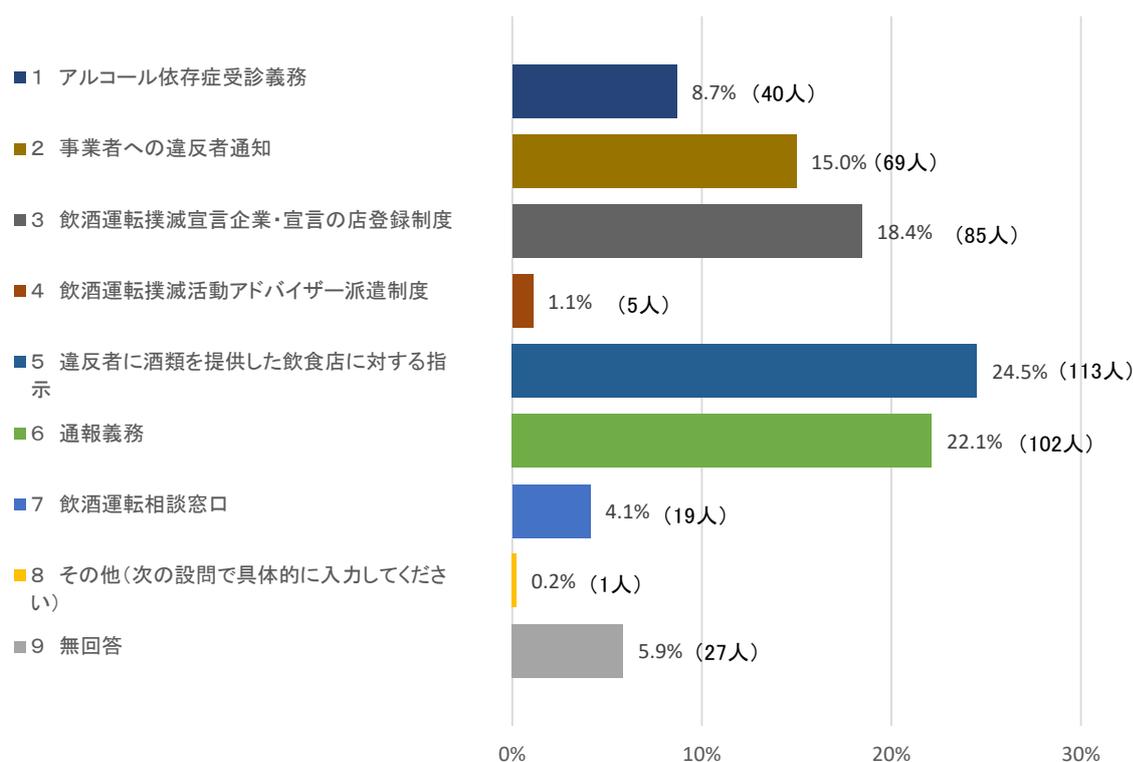
問4（問2で「1」を選択された方にお尋ねします。）

飲酒運転撲滅条例に基づいて、福岡県では飲酒運転撲滅に向けた様々な施策（※2～8）を実施しています。

次の中から知っているものを【全て】選んでください。

（回答者数175人、回答件数434件、複数選択可）

1 アルコール依存症受診義務	8.7%	(40人)
2 事業者への違反者通知	15.0%	(69人)
3 飲酒運転撲滅宣言企業・宣言の店登録制度	18.4%	(85人)
4 飲酒運転撲滅活動アドバイザー派遣制度	1.1%	(5人)
5 違反者に酒類を提供した飲食店に対する指示	24.5%	(113人)
6 通報義務	22.1%	(102人)
7 飲酒運転相談窓口	4.1%	(19人)
8 その他(次の設問で具体的に入力してください)	0.2%	(1人)
9 無回答	5.9%	(27人)



問4-2 問4で「9」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

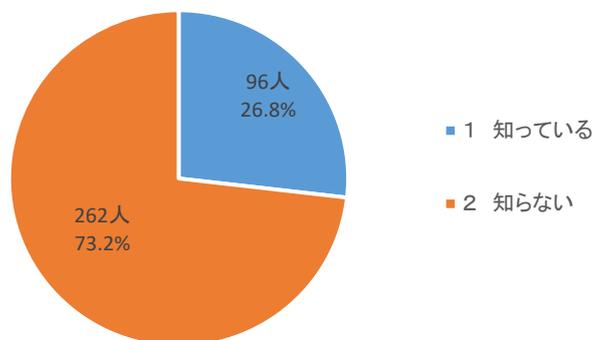
(N=1)

・県警が毎月(?)25日に県下一斉の飲酒運転取締りを実施していること。

問5 福岡県では、飲酒運転撲滅の県民意識を定着させる上で、飲酒運転を見かけた場合の警察官への通報を根付かせることが重要であるため、昨年度から、飲酒運転撲滅運動のキャッチフレーズを、「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない」から「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない。そして、見逃さない」に変更しています。このことをご存知ですか。
次の中から【1つだけ】選んでください。

(N=358 選択は1つのみ)

1 知っている	26.8%	(96人)
2 知らない	73.2%	(262人)

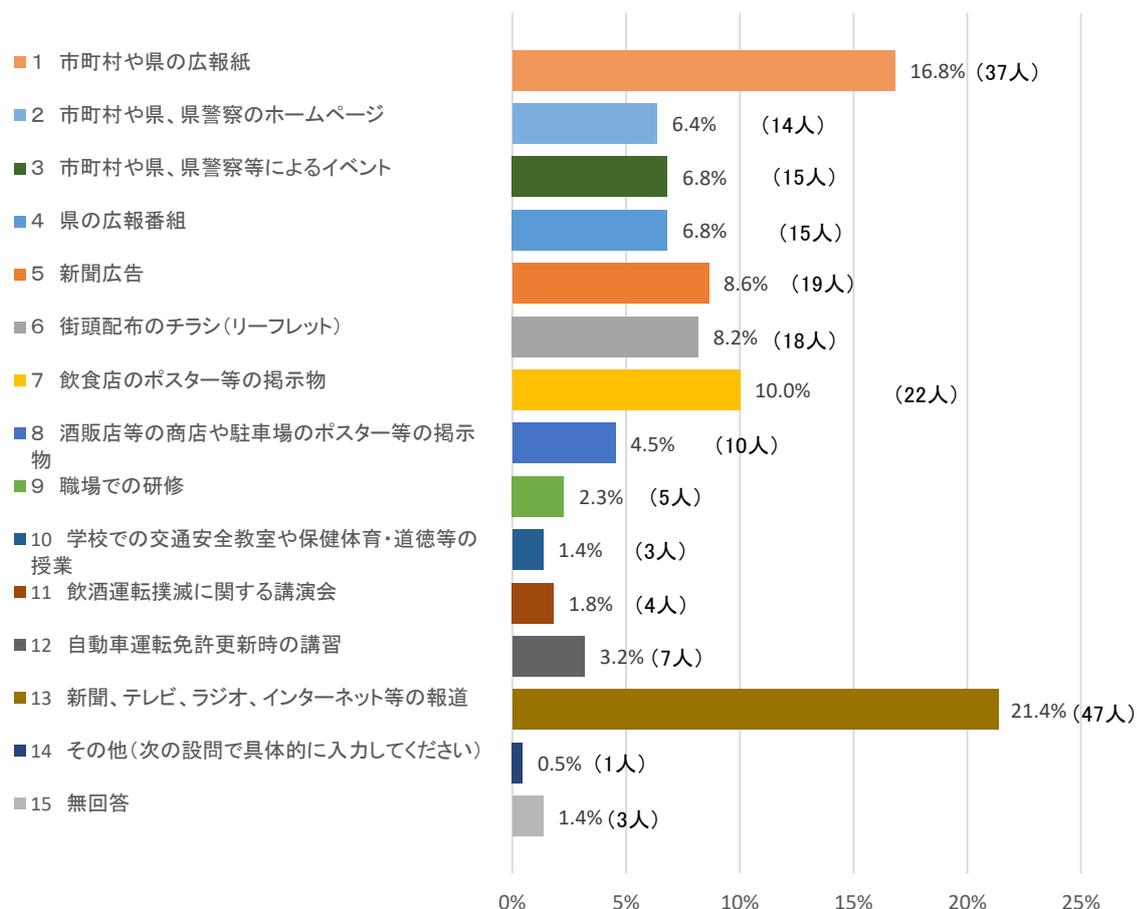


問6（問5で「1」を選択された方にお尋ねします。）

飲酒運転撲滅運動のキャッチフレーズが「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない。そして、見逃さない」に変更されたことを知ったきっかけを、次の中から【全て】選んでください。

（回答者数93人、回答件数217件、複数選択可）

1 市町村や県の広報紙	16.8%	(37人)
2 市町村や県、県警察のホームページ	6.4%	(14人)
3 市町村や県、県警察等によるイベント	6.8%	(15人)
4 県の広報番組	6.8%	(15人)
5 新聞広告	8.6%	(19人)
6 街頭配布のチラシ(リーフレット)	8.2%	(18人)
7 飲食店のポスター等の掲示物	10.0%	(22人)
8 酒販店等の商店や駐車場のポスター等の掲示物	4.5%	(10人)
9 職場での研修	2.3%	(5人)
10 学校での交通安全教室や保健体育・道徳等の授業	1.4%	(3人)
11 飲酒運転撲滅に関する講演会	1.8%	(4人)
12 自動車運転免許更新時の講習	3.2%	(7人)
13 新聞、テレビ、ラジオ、インターネット等の報道	21.4%	(47人)
14 その他(次の設問で具体的に入力してください)	0.5%	(1人)
15 無回答	1.4%	(3人)



問6-2 問6で「14」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

(N=1)

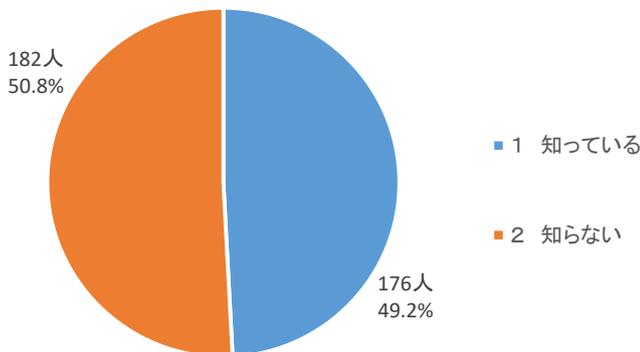
・道路脇の看板で見た気がする。

問7 福岡県では、「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない。そして、見逃さない」という県民意識の定着を図るため、8月25日から12月31日まで「飲酒運転撲滅キャンペーン」を実施していますが、このことをご存知ですか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

(N=358 選択は1つのみ)

1 知っている	49.2%	(176人)
2 知らない	50.8%	(182人)

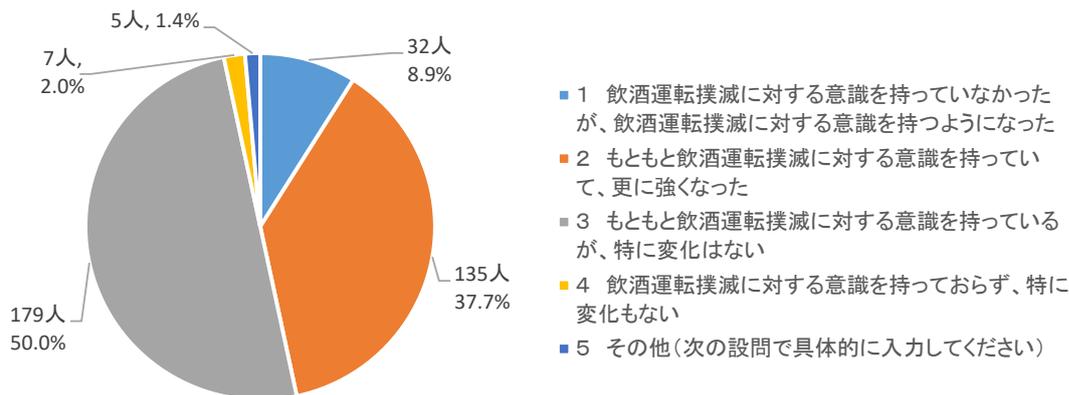


問8 近年における飲酒運転撲滅運動等をきっかけとして、ご自身や周囲の方々の飲酒運転撲滅に対する意識に何らかの変化がありましたか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

(N=358 選択は1つのみ)

1 飲酒運転撲滅に対する意識を持っていなかったが、飲酒運転撲滅に対する意識を持つようになった	8.9%	(32人)
2 もともと飲酒運転撲滅に対する意識を持っていて、更に強くなった	37.7%	(135人)
3 もともと飲酒運転撲滅に対する意識を持っているが、特に変化はない	50.0%	(179人)
4 飲酒運転撲滅に対する意識を持っておらず、特に変化もない	2.0%	(7人)
5 その他(次の設問で具体的に記入してください)	1.4%	(5人)



問8-2 問8で「5」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

(N=5)

- ・取り組みが効果をもたらさない事を把握し、方法を変えてはどうかと思っている。いつまでも同じ事件ばかりを取り上げるより、別の視点から取り組んではどうか。私自身は飲酒しないので、飲酒運転がなくならないのは県民として恥ずかしい。
- ・父が晩酌の量が多く寝る直前まで飲むような人だったが、朝にまだアルコールが残った状態で運転して通勤する可能性があるを知ったので家族みんなで話し合い、量を減らすなどところがけている
- ・福岡は全国的にも飲酒運転が多く、よく話題になっており県民として恥ずかしい。
- ・飲酒運転撲滅運動がなされていることをあまり知らなかったが、飲酒運転の危険性についてはテレビ報道などで十分理解している。

問9 (問8で「1」を選択した方にお尋ねします。)

(N=146)

(抜粋)

○飲酒運転撲滅意識について

- ・飲酒運転を軽く見ている人に、注意できるようになった。
- ・周りにお酒を飲む人がいると飲酒運転は絶対にしないように注意するようになった。
- ・自転車の飲酒運転もしないよう、周りの人に声をかけるようになった。
- ・より気持ちを引き締め、周囲にも注意できるように変化していると感じている。
- ・キャンペーンを実施していると、より撲滅の気持ちが強くなる

○飲酒運転撲滅の取組について

- ・飲み会を開催するときには、ハンドルキーパーがいるのか、移動手段などを確認するようになった。
- ・酒食を伴う会合で、参加者に車で来たか否かのチェック的会話を普通にかわすようになった。
- ・飲酒運転は絶対に駄目と言う事を再認識して飲酒した際は車のキーを家族に渡しています。

○飲酒運転110番通報について

- ・お酒を飲む場では、相手が車で来ているか否かを確認するようになった。飲酒運転を知った場合、見逃さず、警察に通報しようという意識が強くなった。
- ・飲食店で飲酒後に車を運転している人を見かけた時、以前はどうしたらよいか分からなかったが、今では迷わず110番しようと思っている。

○適正飲酒について

- ・夜深酒をしたときは、翌朝運転は控える。翌朝運転するときは、遅くまで飲まない。
- ・遅くまで飲んだ翌日は車を運転しない様にした。以前は翌日だからいいと思っていたが、今では危険だと思う様になった。

○職場等での取組について

- ・職場でも撲滅宣言登録しているし、周囲の人々にも、少しでも飲んだらダメと念を押すようになった。
- ・親族が飲食店を営んでいます、店内に張り紙をしたり、声掛けをしたり、とより意識が強くなりました。

○その他

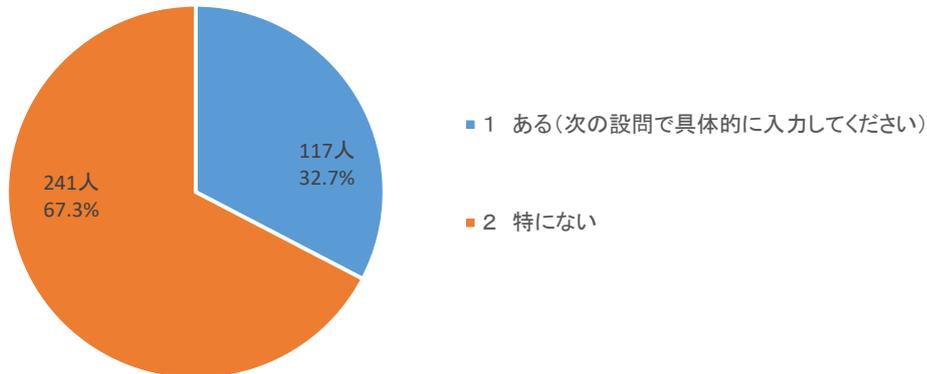
- ・飲酒運転による事故で亡くなった方の遺族の話を高2の子供が学校で聞いて、周囲に呼び掛けたり、将来絶対飲酒運転はしないと話していました。
- ・高校生の頃は酔っぱらってなければ運転してもいいという認識だったが、飲酒運転撲滅運動が始まったあとで自動車の運転免許を取ったので、一口でも飲んだら運転できないという認識にかわりました。

問10 飲酒運転の撲滅について、これまでの設問以外に意見（飲酒運転の撲滅のために必要だと思われること等）がありますか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

(N=358 選択は1つのみ)

1 ある(次の設問で具体的に入力してください)	32.7%	(117人)
2 特にない	67.3%	(241人)



問10-2 問10で「1」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

主な意見(抜粋)

○厳罰化について

・今よりさらに厳しい処置しかないのでは？

・このような取り組みをしてもなお、飲酒運転が減らないため、違反者にはもっと厳罰にすべき。公務員や警察官等は更に重い厳罰にすべき。

○広報・啓発について

・条例や撲滅運動の周知をもっと広げる。

・企業においても飲酒運転の禁止について、従業員への周知、徹底を行うことも重要だと思います。

・TVやラジオcmなどを流し意識させる。興味がある人は情報を取りに行くが、興味無い人は情報がない。身近に感じさせる事が良い。

・もっと多くの方々へアピールしていくべきである。また、アルコール依存というものがどの程度？具体的な内容等知らないことが多いので、もっとPRしていただきたい。本当に悪いという意識を全員に強く持って欲しい。大学等での講演会を年に一度は開いていただきたい。実際にアルコール運転を体験させるべきである。

○検挙について

・検問を増やすなど、意識の低い人を厳しく取り締まってほしい。

・より多く、あらゆる場所で取り締まって欲しい。

○その他

・本人以外にも家族の意識がかなり重要だと思う。

・アルコール依存症の受診義務とありますが、本人は意外に自分がアルコール依存だと思っていないのではないのでしょうか。もっと積極的に職場にカウンセラーなどを置いておかしいと思ったらもっと気軽に相談できるようにして、早期に治療が受けられるようになったらと思います。

・飲み会や会合、仕事上の懇親会などで受付時にハンドルキーパーのネームプレートなどを配布する。

・若者の飲酒運転が減少していないという報道があった。免許取得の際や更新の際に必ず飲酒運転の恐ろしさについて講習を受講させることが全員に徹底できることではないかと思う。

・海の中道の事故の際はメディアや県民の意識も高く周りも気をつけないといけないと話していたが、最近のニュースや飲食店街を歩いている人の話を聞くと風化されている感じがある。

・飲酒をしたら車を運転できない仕組み(装置)を車につけたらいいと思う。例えば、装置に息を吹きかけてアルコールが検出されなければエンジンがかかるけど、検出されたらエンジンがかからないなど。